世界に希望を生み出そう

第 2570 地区第 3 グループ
所沢東ロータリークラブ

週　報

2023 年 7 月～2024 年 6 月　会長　齋藤　正史　幹事　井川　和豊

例会日　毎週木曜日(12:30-13:30)
例会場　ベルヴィ ザ･グラン　所沢市星の宮 1-3-5 TEL04-2923-4122
事務局　所沢市星の宮 1-4-17 TEL04-2928-6363 fax04-2928-6369
Email info@te-rc.com　HP http://www.te-rc.com/

四つのテスト　1　真実かどうか　2　みんなに公平か　3　好意と友情を深めるか　4　みんなのためになるか　どうか

第 1578 例会
2023 年 9 月 7 日

1. 点鐘(会長)
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング斉唱
4. 四つのテスト
5. 来賓紹介（副会長）
6. 会長挨拶
7. 幹事報告
8. 出席報告
9. ロータリーの友紹介
10. 委員会報告
11. 記念祝福
12. スマイルボックス
13. クラブ協議会「青少年交換学生について」
    新倉　良之会員（2570 地区青少年交換学生委員）

出席報告(総数 50 人)

9/7	人	%
8/24	50 人	100%

本日の記念祝福(9 月) 1

《会員誕生》

齊藤栄二

「所沢東ロータリークラブ」で検索！

■ ■ ■クラブ年度テーマ■ ■ ■
新たなるスタート！

8 月 21 日(月)５クラブ合同例会「市長卓話」所沢市長　藤本正人様

8 月 26 日(土)　移動例会「納涼会」　東京スカイツリー

◎写真は次号に続きます

■イニシエーションスピーチ（8 月 3 日例会）

奥村　　稔　会員

本日は、イニシエーションスピーチの機会を与えていただきありがとうございます。自分はあまり英語が得意ではありませんので、イニシエーションって何かなとグーグルで検索をしてみました。すると、ページトップに「通過儀礼のこと。人を今の状態から新しい状態に変化させるために課す儀礼を指す」とありました。な、なんか凄いことにと思ったわけですが・・・。ロータリークラブでは、経歴や職業、趣味、考え方を他の会員に伝え、理解を深めることのようですが、自分には自慢できるような経歴や趣味もありませんので、ほんの一部ですが、自分をシェアさせていただき、会社経営者へと進んだこと、伝統ある所沢東ロータリークラブの末席に加えさせていただくことに至った思いを中心にお話ししたいと思います。

自分は昭和３７年１０月生まれの６０歳です。飯能市で生まれ、父親の転勤で各地を転々とし、小学校に入学するとき、両親の故郷である所沢の柳瀬地区に移り住んで育ちました。ですので、元々の苗字は金子と言います。

奥村家に来たのは２７歳のときでした。奥村の本家は福井県福井市にあって、福井眼鏡株式会社を経営しております。家内とは同じ年齢でして、市役所で知り合いました。結婚をし、妊娠をしたことをきっかけに退職してから専業主婦をしています。子供は娘が一人。ＪＲ、損保会社勤務を経験し、今は所沢市役所の職員です。お嫁に出してしまったので、家に帰って駆け寄ってくれるのは、９歳になる女の子のトイプードルだけになってしましました。

さて、皆様ご承知のとおり、自分は地方公務員として、昨年の３月末まで約４０年間を所沢市役所で過ごしてきました。市役所での勤務は充実した時間であり、多くの素晴らしい仲間とともに様々な課題に取り組み、解決し成し遂げることに喜びを感じる日々でした。しかし、先輩達が次々と定年退職していくのを見るにつれ、自分にもその時間に限りがある事を感じるようになったとき、近い将来、このままでは自分の成長や挑戦が制約されてしまうのではないかと思い始めたのです。そこで自分は、会社経営者としての道に進むことを選びました。

この転機は自分自身にとって大きな挑戦であり、時には苦しい事もあるだろうけれども、そこから得る経験は、自分の人生を豊かにし、ビジネスを通して新たな価値観を創造し、人々の生活に貢献することができるのではないかと思ったからです。

新たな道を選択したことで、所沢東ロータリークラブへの加入も認めていただくことができました。自分は、ロータリークラブの理念に深く共感し、その価値観に惹かれております。奉仕と友情、真実の価値を重んじるロータリークラブの活動は、自分の人生の中で新たな意味を持たせてくれるのではないかと思っております。所沢東ロータリークラブに加わることで、地域社会に対する奉仕活動に積極的に参加し、多くの方々と友情を深めていきたいと思っていますし、メンバーとして、真実の価値を大切にし、誠実な人間としての成長を目指していきたいと考えております。

皆様とともに素晴らしい時間を過ごし、自己の可能性を広げ、よりよい社会への貢献を実現したいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

大河原　秀雄　会員

短い時間ではありますが、少しでも私個人の事を知って頂ければと思っております。

私は、昭和 39 年 11 月 27 日生れの現在 58 歳です。兄、私、妹の 3 人兄弟の真ん中の子供で、所沢に生れました。兄とは同じ 11 月 27 日生れですが双子ではありません。2 歳違いで同じ誕生日なのです。

私は今まで、双子以外で同じ誕生日の兄弟は、聞いたことも会ったこともありません。

小学校では４年生まで、王、長嶋に憧れる野球少年、５年生から本格的にサッカーを始めました。当時は、野球人気が強くサッカーは今ほどメジャーではなく、同学年でサッカーをしていたのは私一人だけでしたが、サッカーの魅力にはまってしまい中学、高校、大学までサッカーを続けていました。

高校は、川越工業建築課に入学しました。私の通学していた時代は、男子校でまさにビーバップハイスクールを彷彿とさせるような学校でしたが、サッカーを続けていたので、脇道にそれずに無事に高校生活を過ごすことが出来ました。

そして大学では、東海大学体育学部に入学し、なぜかサッカー部ではなく、約３ヶ月程、体育会ラグビー部に所属しました。この３ヶ月間の練習はとにかく走る、走る、走るの連続でした。この時に自分の不甲斐なさを実感しラグビー部を退部しました。

その後、初心に戻りサッカー同好会に入部しました。この同好会は全国大会に出場した選手などもいた同好会でしたので、長野県の菅平で行われるサッカーマガジン主催の菅平カップという、サッカー同好会の全国大会に参加し決勝まで進むことが出来ましたが、ＰＫ戦で惜敗したことが非常に悔しい記憶に残っています。

大学卒業後、昭和６２年に大和ハウス工業㈱に入社し、戸建住宅の営業として住宅展示場に配属されました。最初に熊谷展示場に配属され与野市から熊谷市まで１７号バイパスを約１時間半かけて朝は、ひたすら北上し夜はひたすら南下する通勤でした。

大和ハウスでの記憶にあるのは、新入社員研修のなかで「意識が変われば行動が変わる、行動が変われば結果が変わる、結果が変われば人生が変わる」という話が、今でも心に残っています。大和ハウスには、約１０年在籍しましたが、その間に結婚し子供も生まれ、家族の時間が必要だと思い、大和ハウスを退社して平成９年に実家の大菊建設㈱入社、現在に至っております。大菊建設は、父親が大工の小僧から叩き上げて成長させた会社であります。父親には到底及びませんが、少しでも父親に近づけるよう日々努力の毎日です。

次に私の家族についてお話ししたいと思います。妻は元保育士です。子供は２７歳で妻と同じ保育士の長女、２５歳で現在カナダにいる長男、１９歳で大学生の二女、１７歳で高校生の次男、そして１４歳で中学生の三女の７人家族です。子供も５人いると誕生日を忘れないように毎年、新しい手帳にするとまず子供たちの誕生日と年齢を書き込むようにしています。ですが、名前を間違えるのは日常茶飯事で、毎日のように子供に怒られています。

長女、長男が独立したので家族全員揃うことが少なくなりましたが、全員揃っての食事では、賑やかというより、うるさい位でした。その場での私の発言機会は、ほぼありませんでした。子育ても終盤になり少し時間の余裕が出来てきたこともありロータリークラブに入会いたしました。

所沢東ロータリーに入会した最初の例会で、北野先生の話を聞けたのは非常に良かったと思います。北野先生の話で印象に残った話が二つありました。一つめは「若者と高齢者の違いとは」の話です。若者は出来なかった事が出来るようになる。高齢者は出来ていたことが出来なくなる。まさにその通りだなと納得してしまいました。流石、大学学長の話は、説得力があると感心いたしました。二つめは、「私の人生観」の話です。この話を聞いて自分の人生観はなんだろう？と考えると、私の人生観は「七転八起」です。７回転んでも８回立ち上がれば良い。人生何回失敗をしても、それに負けず、また勇気を奮い起して挑戦することが大事だと思います。

最後に趣味の話をさせて頂きます。私の趣味は、スポーツ観戦でコロナ過の影響で何年か行っていませんが、Ｊリーグと高校サッカーは毎年、現地で観戦していました。また、春から秋はゴルフ、そして冬はスキーを楽しんでおります。

こんな私ですが、皆様の仲間にさせて頂きました。これからも末永いお付き合いの程、宜しくお願いいたします。

■ い～すと通信

今年度より理事の皆さんに、自由題でエッセイを書いてもらいます。ロータリーの友には「エバンストン便り」（エバンストンはRI の拠点）がありますが、東クラブでも多様な角度から皆さんに発信できる場があればいいと考えています。

会報委員長　梅沢　雅利

『地震に強い木造住宅とは』　　齋藤　正史　会長

住宅の性能の水準を護る法律として建築基準法があります。

建築基準法に準じた住宅は、巨大地震時に人名を助けることは保証するけれども、建物の資産価値がなくなってしまう可能性があります。つまり、大地震の後に人がその建物から安全に脱出する時間を確実に保証することが、建築基準法が定める耐震性の目指すところなのです。大地震の揺れによる圧死は防ぐが、その後もその住宅に住めるかは保証されないということです。

建築基準法の耐震性の規定では、建築物が建っている間に一度は遭遇することを考慮するべき大地震（震度 6 強～7）に対して、倒壊・崩壊しない耐震性となっています。これは「倒壊はしないけれども一定の損傷は受ける」ということです。

耐震性の指標として、現在広く用いられているのが耐震等級です。耐震等級 1・建築基準法レベルの耐震性能をみたす水準で、これ以下は危険というギリギリの耐震性能です。

耐震等級 2・建築基準法の 1.25 倍の地震に耐えられる性能、耐震強度水準です。

耐震等級 3・建築基準法の 1.5 倍の地震に耐えられる性能、耐震強度水準です。

最近では震度 6 強以上の地震が 100 年に 1 回どころか 10 年に 1 回の頻度で発生しています。いつどこで起きるかわからない大地震に備えるのであれば、耐震等級 3 の水準を満たす住宅を建てることが必要不可欠です。大切な家族と過ごす住まいだからこそ、その安全性は重要です。地震から家族の命を守り、地震後の生活を守るなら、耐震等級 3 の家づくりは大きな安心材料となるのではないでしょうか。

■ 所沢高校インターアクトクラブ活動報告

8 月 19 日柳瀬川清掃活動を行いました。藤本市長も参加して、高校生と一緒に川を下りました。カヌー体験も楽しみました。

齋藤　正史 会長

例会日	当 番	プ ロ グ ラ ム
9/7 木	平岡	クラブ協議会
9/14 木	深井	卓話「経営者が必要とする 肉体と精神のバランスとは」 浜崎　裕一　様
9/21 木	藤永	会員卓話「学ぶこと」 野藤 修三 会員・藤永 博 会員
9/28 木		休会
10/5 木	二上	クラブ協議会
10/12 木	見澤	例会振替 10/8（日）ところざわ祭り
10/19 木	武藤	ガバナー補佐訪問 第 3 グループガバナー補佐 齋藤　栄作 様（入間 RC）
10/26 木	見澤	例会振替 10/24（火） 5 クラブ合同ガバナー公式訪問 ガバナー 高丹 秀篤 様（深谷 RC）